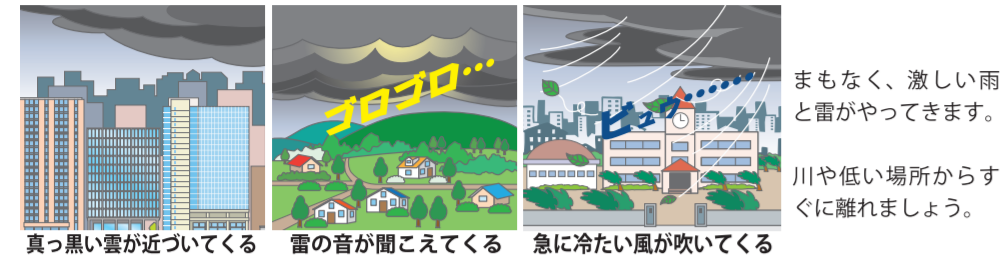


1. 災害を知る

台風や局地的大雨などで激しい雨が降り続くと災害、被害が発生します。

積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」な時(上空に冷たい空気、地上に温かい空気の層がある時)に発生します。



まもなく、激しい雨と雷がやってきます。

川や低い場所からすぐに離れましょう。

真っ黒い雲が近づいてくる 雷の音が聞こえてくる 急に冷たい風が吹いてくる

大雨によって発生する災害、被害

洪水

洪水(河川はん濫) 大雨などが原因で河川から増水・はん濫し、陸地が水没したり建物などが浸水します。

内水はん濫 短時間に大雨が降ると、排水路では雨水がはけきれなくなり土地の低いところで浸水します。

ため池決壊 長時間の雨や地震の影響で、ため池の堤の土が、緩んで崩れ、決壊します。

土砂災害

急傾斜地の崩壊(かけ崩れ) 山中にしみ込んだ雨水により、急な斜面が突然くずれ落ちる現象です。

土石流 大雨により谷や山の地面の土や石が一気に流される現象です。

地すべり 山や傾斜地の一部がゆっくり動く(すべる)現象です。

土砂災害(特別)警戒区域とは

土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれがある区域で、警戒区域では危険の周知、警戒避難マニュアルの作成など警戒避難体制の整備が図られます。

土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域のうち建築物に損壊が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、建築物の移転の助告及び支援措置などが行われます。

では、市で想定される災害は、どの地域でどんな災害が起こるか確認しましょう。

北部では、土砂災害のおそれ、中部では洪水、土砂災害のおそれ、南部では洪水のおそれがあります。自宅や職場、学校近辺などにはどの災害の危険性があるか、指定避難所はどこなのかなど、あらかじめ確認・認識しておき、いざという時の避難行動について考えておきましょう。

凡例
 ■ 土砂災害のおそれがある地域
 ■ 洪水、土砂災害のおそれがある地域
 ■ 洪水のおそれがある地域

知っておこう!! 安否確認できる方法 災害伝言ダイヤル171 体験利用提供日

災害伝言ダイヤル171は、大規模な災害が発生した時の「声の伝言板」です。伝言の録音・再生は、一般電話、公衆電話、携帯電話・PHS(一部通信事業者を除く)から行えます。

安否確認方法

伝言を録音する場合
 171にダイヤル → 1 → (〇〇〇)□□□-□□□□ → 伝言を吹き込む

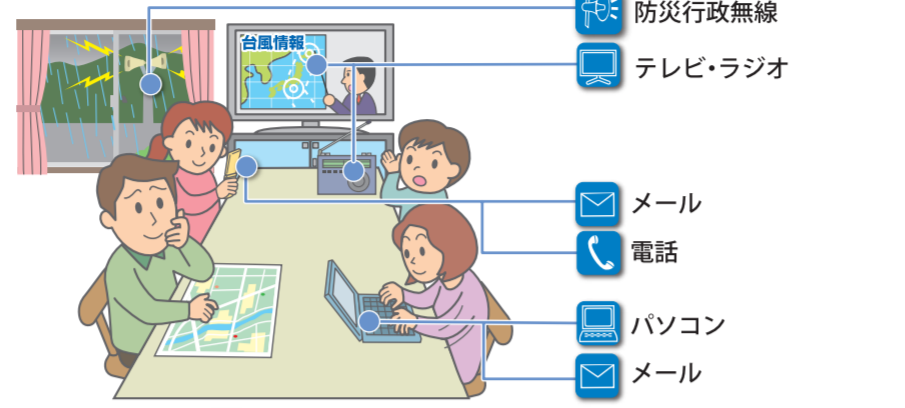
伝言を再生する場合
 171にダイヤル → 2 → (〇〇〇)□□□-□□□□ → 伝言を聞く

インターネットでも登録・確認できます。
<https://www.web171.jp> にアクセスしてください。

2. 大雨時に取るべき行動を考える

① 大雨時に取るべき行動

大雨による災害のおそれがある場合は、気象庁や市から、テレビ・ラジオを通じて様々な情報が発表されます。大雨時などには、自ら情報収集し、災害に備えましょう。



情報の入手先

甲府河川国道事務所
災害防災情報やみちカメラ(映像・雨量など)、かわカメラ(映像・水位)などが確認できます。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufufu/>

国土交通省防災情報提供センター
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
携帯端末からは
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

山梨県内の雨量・水位情報
<http://www3.pref.yamanashi.jp/yamanashiweb/>
携帯端末からは
<http://www3.pref.yamanashi.jp/dosya-m/nyds/top.page.do>

山梨県土砂災害警戒情報携帯サイト
<http://www3.pref.yamanashi.jp/dosya-m/top>

気象庁ホームページ
土砂災害警戒判定メッシュ情報 大雨警報(浸水害)の危険度分布 洪水警報の危険度分布など
<http://www.jma.go.jp/jma/>

山梨市防災防犯メール
市民の皆さんに防災行政無線の放送内容をはじめ、東海地震などの各種災害関連情報などをお伝えするため、携帯電話やパソコンにメール配信を行います。
下記メールアドレスに空メールを送信してください。
entry@sabo-mail.pref.yamanashi.jp

山梨市防災防犯メール
下記メールアドレスに空メールを送信してください。
city-yamanashi@cousmail-entry.cous.jp

	デジタル放送	AMラジオ	FMラジオ	電話
テレビ・ラジオ	NHK総合 1ch NHKEテレ 2ch YBS 4ch UTY 6ch	NHK第一 927KHz NHK第二 1602KHz YBS 765KHz	NHK-FM 85.6MHz FM-FUJI 83.0MHz エフエム甲府 76.3MHz	防災行政無線で放送された内容を、電話で確認できるサービスです。 080-0800-6811

警戒レベルと取るべき行動

平成30年7月に発生した西日本豪雨を教訓に、災害発生時の危険度と避難行動を促す情報を「5段階の警戒レベル」でお知らせすることになりました。災害に備え、警戒レベルと各段階で取るべき行動を家族で話し合しましょう。

警戒レベル	住民の皆さんがとるべき行動	避難情報	(参考) 気象庁等の情報		
			警報等	危険度分布	指定河川
警戒レベル5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報 ※可能な範囲で発令	大雨特別警報		氾濫発生情報
警戒レベル4	危険な区域の外や少しでも安全な場所に速やかに避難 速やかに避難	避難指示(緊急) ※緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令 避難勧告	土砂災害警戒情報	極めて危険 非常に危険	氾濫危険情報
警戒レベル3	土砂災害警戒区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は 避難準備が整い次第、避難行動開始 高齢者の方は速やかに避難	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報 洪水警報	警戒(警報級)	氾濫警戒情報
警戒レベル2	ハザードマップ等で避難行動を確認		大雨注意報 洪水注意報	注意(注意報級)	氾濫注意情報
警戒レベル1	災害への心構えを高める		早期注意情報		

避難行動

避難とは指定避難所へ移動することと思われるがちですが、次のすべての行動をいいます。状況に応じた行動を行いましょう。

- 指定避難所への移動
- 安全な場所への移動(公園・親戚や友人の家など)
- 近隣の高い建物などへの移動
- 安全な場所での待機

自宅の外へ避難(立退き避難)
指定避難所など
水平移動

自宅に待機(屋内安全確保)
垂直移動
屋外へ出ることが危険な場合や浸水深が小さい地域では、自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保をしましょう。

雨の降り方と雨量の目安

予報用語	やや強い	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量(mm)	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
イメージ					
状況	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じる。

気象情報(警戒レベル相当情報)

	少	降水量	多
気象情報	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報、洪水警報 (土砂災害、浸水害)	大雨特別警報

記録的短時間大雨情報 1時間に100mm以上の大雨を観測したときに気象庁が発表する情報

河川水位情報(警戒レベル相当情報)

	少	降水量	多	
河川水位	水防団待機	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
河川名(量水標名)	水防団待機	はん濫注意水位	避難判断水位	はん濫危険水位
笛吹川(石和)	1.50m	2.00m	2.90m	3.30m
日川(日川葡萄橋)	0.80m	1.40m	※	※
重川(歌田)	0.70m	1.20m	※	※
平等川(石和町松本)	1.20m	1.70m	2.10m	2.40m

※雨量などの気象情報をもとに判断します。

土砂災害警戒情報(警戒レベル相当情報)

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害発生時の危険度がさらに高まったときに、避難勧告や自主避難の判断を支援するよう、県と気象台で対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報です。

② 避難の心得

指定避難所、避難経路の確認をしておきましょう。

非常持ち出し品の事前準備をしましょう。

隣近所との「日常的な交流」を心がけましょう。

地域の自主防災組織が行う避難訓練に参加してみましょう。

雨や台風の最新情報を入手し、避難情報に注意しましょう。

お年寄りや体の不自由な方などの避難に協力しましょう。

車での避難は控え、動きやすい服装で、ひとりでの避難は、避けましょう。

土砂の流下方向に対して、直角に逃げましょう。避難が遅れたら、家の中では山側から遠い場所に移動しましょう。

避難時には浸水箇所に注意しましょう。

避難が遅れたら、建物の2階以上に避難し、救助を待ちましょう。

3. 災害に備える

① 家族で災害に備える(非常持ち出し品)

非常食
 飲料水
 火を通さずに食べられる餅
 アルファ化米、カンパン、缶詰など

衣類
 衣類(厚手の物と薄い物)
 下着、靴下
 タオル、毛布、寝袋
 生理用品
 雨具
 コンタクトレンズ(保存液含)

防災用品
 ヘルメット
 ローソク
 ポリ袋
 ロープ、杖
 携帯ラジオ
 懐中電灯、電池

ブルーシート
 新聞紙
 マスク
 使い捨てカイロ

救急薬品・常備薬
 常備薬(処方箋)
 とげ抜き
 爪切り
 ウエットティッシュ

貴重品
 現金(小銭)
 預貯金通帳、印鑑
 クレジットカード類
 健康保険証
 免許証など

小さなお子さんがいるご家庭では 指定避難所では乳幼児向けの物資が手に入りにくい場合もあるため、以下の物なども準備しておきましょう。

オムツなど衛生用品
 粉ミルク、哺乳瓶
 抱っこひも、おんぶひも
 離乳食、おやつ
 おもちゃ、絵本など

② 地域で災害に備える

避難行動要支援者への支援

災害時の避難などが困難で手助けが必要な方を「避難行動要支援者」と言います。災害などで避難が必要になった場合などは、近所に住んでいるこのような方への配慮をお願いします。

「自助」「共助」「公助」について

自助: 自分で自分を助ける
 共助: 地域、町内会
 公助: 行政機関

安心安全を支えるネットワーク

防災を進めていく上で、「自助」・「共助」・「公助」の視点が欠かせません。誰かにお任せするのではなく、「自分なら何が出来るだろう」、「地域で何が出来るだろう」、「行政には何をやってもらえるだろう」と、互いに連携できることを考えて作成することが大切です。計画の作成を始める前に、「自助」・「共助」・「公助」とはどのような概念かについて確認しておきましょう。

地区防災計画

自らの地区にあわせて防災対策をとりまとめた「地区防災計画」の整備が各地区で進められています。隣近所の皆さんと話し合い、人命や財産を守ることが出来る災害に強い街づくりを進めて行きましょう。

防災関係機関連絡先(AED設置場所)

名称	電話番号	名称	電話番号
山梨市役所	0553-22-1111	東京電力パワーグリッド(株) 山梨総支社	055-215-5110 (時間外) 0120-995-882
山梨市役所牧丘支所	0553-35-3111	東京電力リニューアブルパワー(株) 甲府事業所	0120-995-007
山梨市役所三富支所	0553-39-2121	東日本電信電話山梨支店	055-237-0554
山梨消防署	0553-22-0119	加納岩総合病院	0553-22-2511
山梨消防署牧丘分署	0553-35-3119	山梨厚生病院	0553-23-1311
日下部警察署	0553-22-0110	山梨市立牧丘病院	0553-35-2025
甲府河川国道事務所笛吹川出張所	055-262-2821		
山梨県峡東建設事務所	0553-20-2710		